

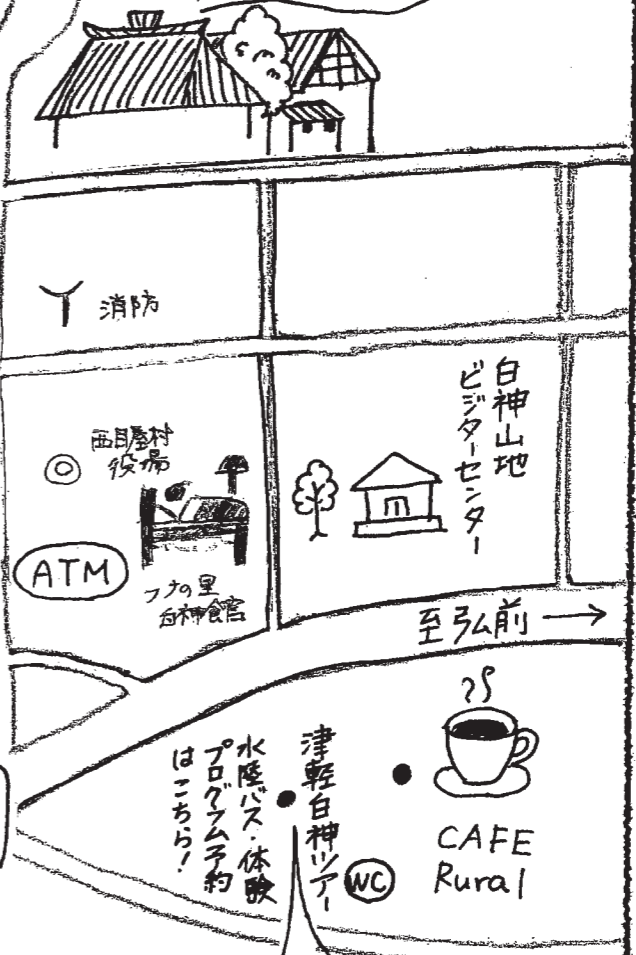
# 古津軽さんぽMAP 西目屋村

## 白神山地・目屋マタギの 知恵と暮らしと仕事ぶり

西目屋村は、白神山地を舞台に何百年も活躍してきた目屋マタギの村です。山の神様は女神様？クマ狩のあとに必ずすることは？天狗の土俵はなぜできる？かつて里ではけして語られることのなかった、大自然と共生し命をいただく仕事の深い知恵と心に触れることができます。

ここの山は  
岩木山

【西目屋グリーン】  
見渡すと屋根や建物の色が、ブナの芽吹き色のグリーン色！同じグリーンでも四種類の色があるんです。



【奥目屋風土回廊】  
(中央公民館)  
マタギの暮らしに欠かせない道具や、暮らしぶりが分かる写真が数多く展示され、白神山地に行く前の予習にピッタリ。日本一大きい「ぎん刺し」の紋帳も見ごたえ十分！

【ブナコ西目屋工場併設  
ブナコカフェ】  
白神のブナの木で作られる工芸品「ブナコ」工場。店内は温かみのある北風のブナコインテリアに囲まれ、青森県の形をした青いティーブルも必見。西目屋産はちみつ100%使用のピザの他、はちみつパウムなどお持ち帰りできるお菓子も。  
【営業】



めんいよ♡

【目屋人形】  
昭和の初め頃まで、山奥から重い炭俵を背負って里に運んでいた若い娘たちがモデル。「ぎん刺し」はこの野良着に施した刺繍がルーツ。初期の人形は猫背で苦痛の表情を浮かべていましたが、近作は背筋が伸びて微笑みを浮かべています。

【岩谷観世音マタギ小屋】  
フワフワのウッドチップの上をぐんぐん進んで橋を渡り、遊歩道を進むとひっそり「マタギ小屋」が。川沿いの洞窟にある岩谷観音堂は、馬の霊を弔ったのが由来と言われ、ここから臨む岩木川は、エメラルドグリーンとっても神秘的♡

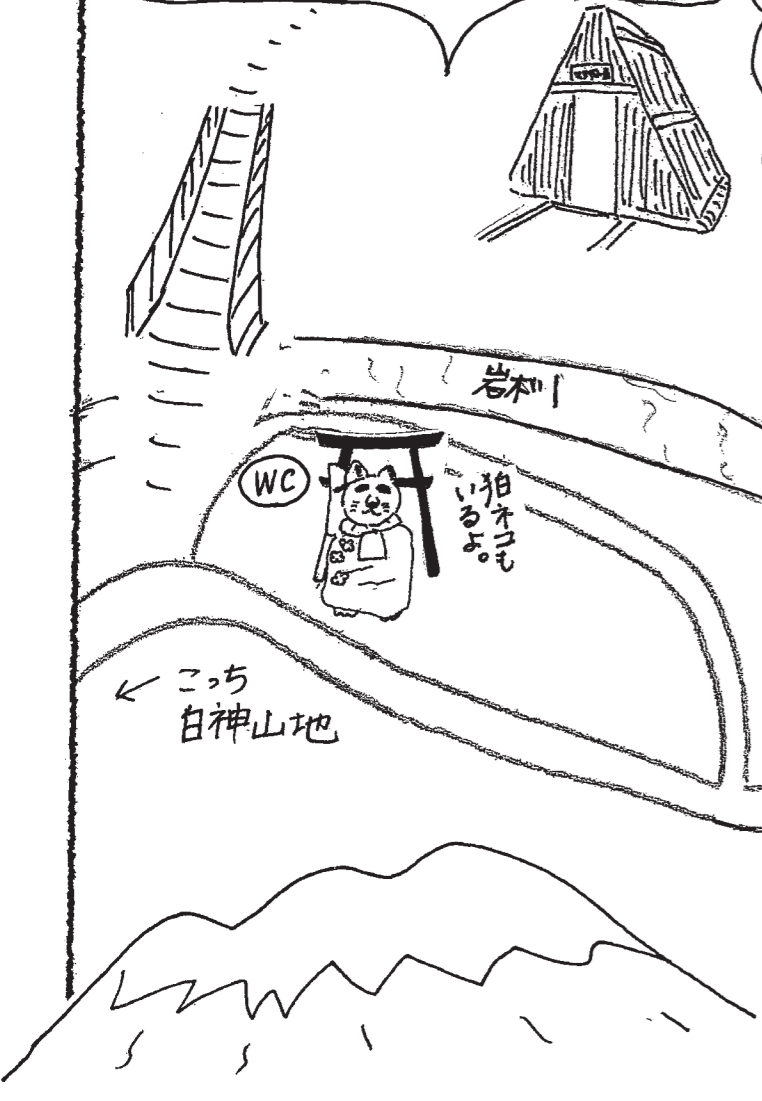
秋になると、フワッとパニラの甘い香りが漂うのは「かつら」の乾燥した葉っぱ。道端にありますが、特に岩谷観世音の入口付近で感じられます。

「びっき石」とも  
口の下に寶銭箱もあるよ。

【道の駅津軽白神】  
春は山菜、夏は手づくりジエラートと白神生はちみつ、秋は大きな天然舞茸など山の幸、冬は目屋豆腐など、白神の恵みを年中楽しめます。時には「熊肉」も販売！  
さんぽの合間には、白神山地の天然水で淹れたコーヒーで一息。ぎん刺しが施されたメンバー商品、目屋人形もこちらでどうぞ。  
【営業】9時～17時  
12/31～1/1 休  
0172-855-2855

【乳穂ヶ滝】  
江戸時代がり、結氷した高さ約3mの滝の太さや形でその年の豊凶を占ってきました。毎年2月第3日曜は祭が開かれ、護摩祈禱、火渡等が行なわれます。今年も凍るか？

見返り坂



岩木川

拍子木  
いるよ。

こち  
白神山地